

# 食肉センター食肉市場特別会計

平成 19 年度決算状況

歳 入	決 算 額	歳 出	決 算 額
1. 事業収入	80,654,861 円	1. 業務費	418,481,312 円
2. 県支出金	62,084,000 円	2. 公債費	131,158,140 円
3. 繰入金	335,456,000 円	3. 予備費	0 円
4. 繰越金	18,979,398 円		
5. 諸収入	30,974,811 円		
6. 市債	52,400,000 円		
合 計	580,549,070 円	合 計	549,639,452 円
		収 支	30,909,618 円

## 歳入

### 款 1 事業収入

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
82,362,000 円	80,654,861 円	80,654,861 円	97.9%	0 円	0 円

### 項 1 事業収入

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
82,362,000 円	80,654,861 円	80,654,861 円	97.9%	0 円	0 円

### 目 1 食肉センター使用料

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
60,271,000 円	58,511,396 円	58,511,396 円	97.1%	0 円	0 円

### 目 2 食肉市場使用料

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
22,091,000 円	22,143,465 円	22,143,465 円	100.2%	0 円	0 円

事業収入は、当特別会計の自主財源となっています。収入減の主なものは、食肉センター使用料（豚）の2,894,104円減です。

昨年度と比較して、と畜頭数を基にした食肉センター使用料は、牛は増額、豚は減額、取扱高を基にした卸売業者市場使用料は、牛、豚ともに減額となりました。事業収入全体としては、4,156,733円の減額となりました。

項 目	金 額 (円)	備 考
食肉センター使用料	58,511,396	
牛	8,515,500	2,100 円 / 頭
豚	49,995,896	577 円 / 頭
食肉市場使用料	22,143,465	
冷蔵庫使用料	11,818,800	1,050 円 / m <sup>2</sup> / 月
卸売業者市場使用料 (牛)	990,948	取扱高 × 2 / 1,000
卸売業者市場使用料 (豚)	6,060,417	取扱高 × 2 / 1,000
卸売業者売場使用料	189,000	210 円 / m <sup>2</sup> / 月
事務所使用料	3,080,700	315 円 / m <sup>2</sup> / 月
敷地占用料	3,600	電柱 2 本

## 款 2 県支出金

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
62,084,000 円	62,084,000 円	62,084,000 円	100.0%	0 円	0 円

### 項 1 県補助金

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
62,084,000 円	62,084,000 円	62,084,000 円	100.0%	0 円	0 円

#### 目 1 食肉センター補助金

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
22,896,000 円	22,896,000 円	22,896,000 円	100.0%	0 円	0 円

#### 目 2 食肉市場補助金

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
39,188,000 円	39,188,000 円	39,188,000 円	100.0%	0 円	0 円

集出荷対策及び施設整備に伴い借入した市債償還 (元金・利子) に対する県補助金

食肉処理施設再整備事業費補助金 22,896,000 円

市場機能強化対策事業費補助金 39,188,000 円

**款3 繰入金**

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
335,456,000円	335,456,000円	335,456,000円	100%	0円	0円

**項1 繰入金**

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
335,456,000円	335,456,000円	335,456,000円	100%	0円	0円

**目1 一般会計繰入金**

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
335,456,000円	335,456,000円	335,456,000円	100%	0円	0円

繰入金は、一般会計から予算全額を繰り入れました。なお、収入済額の内、15,000,000円は年度内に事業が完了しなかった施設整備事業（豚部分肉処理加工施設工事）の財源として明許繰越しました。

**款4 繰越金**

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
3,728,000円	18,979,398円	18,979,398円	509.1%	0円	0円

**項1 繰越金**

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
3,728,000円	18,979,398円	18,979,398円	509.1%	0円	0円

**目1 繰越金**

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
3,728,000円	18,979,398円	18,979,398円	509.1%	0円	0円

明許繰越分2,728,000円を含む金額です。

**款5 諸収入**

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
31,998,000円	30,974,811円	30,974,811円	96.8%	0円	0円

**項1 預金利子**

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
1,000円	118,215円	118,215円	11,821.5%	0円	0円

**目1 預金利子**

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
1,000円	118,215円	118,215円	11,821.5%	0円	0円

## 項2 雑入

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
31,997,000 円	30,856,596 円	30,856,596 円	96.4%	0 円	0 円

### 目1 雑入

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
31,997,000 円	30,856,596 円	30,856,596 円	96.4%	0 円	0 円

施設利用者からの実費弁償金等であり、収入減の主なものは私用電気使用料の 714,747 円減と私用下水道使用料の 188,084 円減と消費税還付金 142,000 円減です。

項目	金額(円)
金融機関預金利子	118,215
私用電気使用料	21,767,253
私用水道使用料	3,201,512
私用下水道使用料	3,786,916
私用ガス使用料	125,483
食肉市場整備事業費	1,975,432
消費税還付金	0

## 款6 市債

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
132,400,000 円	52,400,000 円	52,400,000 円	39.6%	0 円	0 円

### 項1 市債

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
132,400,000 円	52,400,000 円	52,400,000 円	39.6%	0 円	0 円

#### 目1 農林水産業債

予算現額	調定額	収入済額	予算現額に対する割合	不納欠損額	収入未済額
132,400,000 円	52,400,000 円	52,400,000 円	39.6%	0 円	0 円

食肉センター・食肉市場の施設整備事業資金です。予算現額と調定額との差額のうち 60,000,000 円については、明許繰越した事業に係るものです。

# 歳出

## 款 1 業務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
515,422,000 円	418,481,312 円	81.2%	75,000,000 円	21,940,688 円

## 項 1 業務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
515,422,000 円	418,481,312 円	81.2%	75,000,000 円	21,940,688 円

## 目 1 業務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
515,422,000 円	418,481,312 円	81.2%	75,000,000 円	21,940,688 円

〔明許繰越〕 2,599,100 円  
 〔施設維持管理費〕 2,599,100 円  
 正門改修工事に 2,599,100 円を支出しました。

〔一般職給〕 3 人 31,562,447 円

目的	効率的な施設の実現				
指標	機器のトラブル回数	目標	重故障 10 回 / 年 軽故障 200 回 / 年 微故障 180 回 / 年	実績	重故障 14 回 / 年 (18 年度 13 回 / 年) 軽故障 295 回 / 年 (18 年度 267 回 / 年) 微故障 255 回 / 年 (18 年度 185 回 / 年)
説明	消費者に安全で安心な食肉を供給することを目的として、安全性の確保された衛生的かつ効率的な作業環境を築くため、施設・設備の整備及び保守点検、修繕等を実施するとともに、(株)三重県四日市畜産公社に日々の施設・設備等の点検、運転、整備業務等を委託しました。 平成 11～13 年度にと畜ライン等の全面改修を実施し、整備当初には機器のトラブルが頻発していましたが、点検、改良整備を繰り返すことにより、トラブルが年々減少して、設備・機器が安定して来ています。 今後も目標を達成するため、老朽設備を更新していくとともに、17 年度から開始した専門業者への施設管理委託で蓄積されていく施設管理データを最大限に活用して的確な施設管理を実施することにより、より効率的な施設の実現を目指していきます。				

〔施設維持管理費〕 44,295,998 円 (その他特財 44,295,998 円)  
 主要設備の専門業者による保守点検に 28,447,440 円を支出するとともに、老朽等にとまなう施設修繕に 7,749,605 円を支出しました。  
 〔食肉センター食肉市場業務委託費〕 55,032,000 円 (その他特財 50,500,000 円)  
 日常の施設の運転、保守点検を(株)三重県四日市畜産公社に委託しました。

〔施設整備事業費〕

98,695,147 円

(市債 52,400,000 円)

施設整備事業内容	実施額(円)
<b>豚部分肉処理加工施設整備事業</b> 前年度より実施している豚部分肉処理加工施設整備について、取得した建物の改修工事を実施しましたが、年度内に工事が完了できなかった一部について明許繰越となりました。 〔明許繰越金〕 75,000,000 円	57,051,150 内訳 工事費 49,050,000 (契約金額 122,640,000) 設計委託費 8,001,150
<b>せり設備システム老朽更新事業</b> 平成7年3月に整備され老朽化しているせり設備システムの更新を平成18・19年度の2カ年事業で実施しました。 ・せり管理システム(管理サーバー、ソフト等) ・せり機械システム(主表示盤、せり操作卓等) ・枝肉計量機、監視カメラ、入荷管理システム等	40,320,000 説明 契約金額 67,200,000 上記内(H18分) 26,880,000
<b>その他整備・改修工事</b> 進入路整備工事を実施しました。	1,024,800
<b>と畜用備品等導入</b> チェーンブロック、AED機器を導入しました。	299,197

目的	市場上場頭数を増やす				
指標	遠隔地出荷奨励	目標	牛 20 頭	実績	牛 0 頭 (18年度 13 頭) コスト 4,000 円/頭 (18年度 5,000 円/頭)
			豚 45,000 頭		豚 38,733 頭 (18年度 44,643 頭) コスト 200 円/頭 (18年度 300 円/頭)
	牛上場奨励	牛 950 頭	牛 443 頭 (18年度 551 頭) コスト 4,000 円/頭 (18年度 4,000 円/頭)		
	豚出荷新規開拓	豚 5,000 頭	豚 11,047 頭 (18年度 22,922 頭) コスト 100 円/頭 (18年度 100 円/頭)		
説明	<p>食肉市場において、食肉の円滑な流通と適正な価格形成を確保するため、卸売会社である(株)三重県四日市畜産公社を通じて、集荷及び販売対策事業を実施して市場運営の健全化を図りました。豚については、新規大口出荷者の確保等により、目標をほぼ達成することができました。牛については、全国的な出荷頭数減及び他市場との競合により年々上場頭数が減少していく状況です。総取引金額では、35億円と対前年比91.1%となりました。</p> <p>今後、前年より減頭した豚取引の確保と特に牛の上場頭数増加を実現するため、引き続き効果的な集出荷対策の実施を目指していきます。</p> <p>また、牛肉安全性確保対策事業2,575,700円については、当施設でBSEが確認されなかったため、不執行でした。</p>				

〔市場機能強化対策事業費補助金〕

78,377,000 円

(県支出金 39,188,000 円)

## 食肉センター - 業務について

本年度の開場日数は242日で、食肉センターの使用状況は下表のとおりとなりました。牛については全国的な出荷頭数減の中、前年度より増頭しました。豚については大口飼養農家の出荷抑制があり、減頭しました。

また、当施設において、BSE特定危険部位の持ち出し疑惑が発生し、調査委員会による調査では、持ち出しの有無は明確に把握できませんでした。その後、関係機関と検討を重ね、内臓処理体制を整え、安全で安心な食肉の供給に努めています。

・食肉センター使用状況

区 分	牛	豚	馬	子 牛	めん羊	計
本年度計画頭数(頭)	3,700	94,500	0	0	0	98,200
本年度と畜頭数(頭) (前年度 " )	4,055 (3,312)	86,643 (96,126)	0 (0)	5 (2)	0 (0)	90,703 (99,440)
本年度使用料(円) (前年度 " )	8,515,500 (6,955,200)	49,993,011 (55,464,702)	0 (0)	2,885 (1,154)	0 (0)	58,511,396 (62,421,056)
前年度対比(%)	122.4	90.1	-	250.0	-	93.7

食肉市場業務について

本年度の食肉取引状況は下表のとおりで、牛については、他市場との競合の影響等を受け、取引頭数が前年に引き続き減少しました。また、取引単価も低調に推移しました。

豚については、大口飼育農家の出荷抑制により、取引頭数が減少しました。取引単価は、年間を通じ堅調に推移しました。

総取引金額では、対前年比91.1%という結果になりました。

なお、上場率(取引頭数/と畜頭数)については、牛17.6%、豚98.2%となっています。

今後、減頭した豚の取引頭数の確保と減頭した牛の取引頭数を増加させるための積極的な集荷活動が必要となっています。

・食肉取引状況

区 分	取引成立頭数	取 引 重 量	取 引 金 額	平均単価	
牛	本年度計画	900 頭	360,000.0kg	576,000,000 円	1,600 円 / kg
	本年度実績 (前年度)	713 (854)	281,907.0 (331,318.2)	495,472,748 (633,293,880)	1,758 (1,911)
	前年度対比(%)	83.5	85.1	78.2	92.0
豚	本年度計画	90,700	6,802,500.0	2,516,925,000	370
	本年度実績 (前年度)	85,070 (94,798)	6,391,023.8 (7,210,959.2)	3,030,207,487 (3,238,951,401)	474 (449)
	前年度対比(%)	89.7	88.6	93.6	105.6
計	本年度実績 (前年度)	85,783 (95,652)	6,672,930.8 (7,542,277.4)	3,525,680,235 (3,872,245,281)	- -
	前年度対比(%)	89.7	88.5	91.1	-

〔一般経費〕 107,909,620 円 (その他特財 33,085,072 円)  
 〔全国食肉市場長連絡協議会負担金〕 10,000 円

款 2 公債費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
132,106,000 円	131,158,140 円	99.3%	0 円	947,860 円

項 1 公債費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
132,106,000 円	131,158,140 円	99.3%	0 円	947,860 円

**目1 元金**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
100,270,000 円	100,269,690 円	100%	0 円	310 円

〔農林水産業債償還金〕

100,269,690 円

(県支出金 18,124,000 円)

**目2 利子**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
31,836,000 円	30,888,450 円	97.0%	0 円	947,550 円

〔農林水産業債利子〕

30,888,450 円

(県支出金 4,772,000 円)

**款3 予備費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
500,000 円	0 円	0%	0 円	500,000 円

**項1 予備費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
500,000 円	0 円	0%	0 円	500,000 円

**目1 予備費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
500,000 円	0 円	0%	0 円	500,000 円